

ただいま発掘中！

巢鴨遺跡たより



大坂屋ビル地区 第2報 2007. 7. 28

発掘調査も中盤！ 中山道沿いに作られた側溝を発見



〈中山道の側溝〉

巢鴨町屋の発掘調査も、いよいよ中盤にさしかかったある日、地蔵通り（旧中山道）のすぐ脇からは、江戸時代の側溝が発見されました。作られた位置から中山道沿いの側溝でしょう。埋まった状態を観察すると、何回か作り変えている様子がありました。一番古い段階の側溝の中からは、江戸時代の前半の陶磁器が出土しています。こういった陶磁器から、巢鴨が町として発展していく初めの時期に掘られた事実が分かってきました。

ちなみにこの側溝は、地蔵通りの向かいの並びにある司生堂ビル地区の道路際でも発見されています。つまり、現在と江戸時代の中山道の道幅は、現在の地蔵通りとほぼ同じだったと考えられるでしょう。

〈真性寺の寺紋瓦が出土！〉

幕末から明治時代への過渡期と思われる盛土の中から檜扇（ひおうぎ）の文様が描かれた瓦が出土しています。この紋は、この発掘現場の裏手にあります真性寺の寺紋として使用されてきました。

裏面に続きます →

今回出土した瓦の文様は、現在使われている瓦と比べると、檜扇にぶら下がっている房の部分の描き方が緻密であるという違いがあります。屋根に葺かれると、このような細かい部分は見えにくくなるにもかかわらず、緻密な描き方をするというのは当時の瓦職人さんの瓦に対する熱い情熱を感じられます。また、真性寺境内にあたる場所から出土したことも、大変意義のあることと言えるでしょう。

この紋は、現在も地蔵通り商店街を中心にあちこちで使用されています。どれだけの数があるのか、ぜひ皆さんも歩きながら探してみてはいかがでしょうか。そして、意外な所に使われているようでしたら、ぜひ教えてください。

大坂屋ビル地区での発掘調査は、7月で前半戦の町屋部分を終え、後半戦は8月中旬まで敷地の奥側（真性寺境内）を調査する予定です。



今回出土した檜扇瓦



現在の真性寺堀の檜扇瓦



商店街の入口にも！

巢鴨とげぬき地蔵通り商店街入口
ミセス洋品・祭り用品・足袋

有限会社 大坂屋衣料品店

〒170-0002

東京都豊島区巢鴨3丁目21番16号

Tel・Fax (03) 3917 - 4389



編集・発行

特定非営利活動法人

としま遺跡調査会



〒170-0002 東京都豊島区巢鴨3-8-9

巢鴨遺跡大坂屋ビル地区の発掘調査は、大坂屋衣料品店と真性寺のご協力を得て行っております。